

学級活動（２）学習指導略案

2年2組 29名 指導者

横瀬千穂

尾川敬子

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 写真や野菜の実物を見せたり、栄養教諭の話を書かせたりすることで、一人一人にこれまでの自分の食生活を比較させることが、自分の課題に合った自己決定を促す手立てとして有効であるか。

1 題材 たべよう やさい（学級活動（２）－キ）

2 題材について

食は、人間が生きていく上での基本的な営みの一つであり、特に成長期の子どもにとって健康な心身を育むために欠かせないものである。また、子どもの頃の食生活は、将来の食習慣の形成に大きな影響を及ぼすもので極めて重要なものであり、一度見につ身に付いた食習慣を大人になって改めることは、非常に困難なことである。このため、この時期に規則正しい生活の大切さや食についての知識を理解させたり、食事のマナーを身に付けさせたりする必要がある。

そこで本題材では、野菜のはたらきや一日に必要な摂取量について知らせることで、食事が私たちの健康と密接にかかわっていることを理解させ、進んで野菜を食べようとする意欲を高めることができるのではないかと考え、本題材を設定した。

3 活動の流れ

	期日	活動内容	教師の手立て	めざす子どもの姿と評価方法
事前	5/30	1 食事の仕方について考える。	○ 自分の食事の仕方についてアンケートに記入させておく。	【思】 食事をしているときの自分の様子を想起しながらアンケートに記入している。（アンケート）
本時	6/6	1 野菜を食べることの大切さと自分の健康について考える。 2 今後取り組んでいくことを自己決定する。	○ これまでの食生活を振り返らせ、野菜を食べることの大切さと自分の健康について考えさせることで進んで野菜を食べようとする意欲を高める。 ○ 学習したことをもとに、今後どのように実践していくかを自己決定させる。	【知】 野菜のはたらきについて知り、心身の健全な発達や健康な生活を送るためには、野菜を食べることが大切なことを理解している。（発言） 【思】 なぜ、野菜を食べることが大切かを考えている。（観察） 【関】 実物を見たり、栄養教諭の話を書いたりすることで今までの自分の食べ方について振り返り、野菜を食べることに関心を持ち、積極的に実践しようという意欲をもつことができている。（発言）
事後	6/7～	1 自己決定したことを実践する。 2 実践したことを振り返る。	○ 進んで野菜を食べている子どもを称賛する。 ○ 家庭での取り組みについて保護者からの感想を紹介し、自分の頑張りや改めを実感させ継続していこうとする意欲を高める。	【思】 自己決定したことを実践している。（行動、モグモグやさいカード） 【態】 実践したことの大切さを実感し、継続していこうとしている。（モグモグやさいカード）

4 本時の活動

(1) 目標

これまでの自分の食べ方を振り返り、野菜を食べることについて考えることで健康な体を作るために、苦手なものも進んで食べようとする意欲を高めることができるようにする。

(2) 評価基準

食生活の大切さについて理解し、自己の課題を解決する方法を自己決定しようとしている。

【集団の一員としての思考・判断・実践】

(3) 「食に関する指導の目標」との関連

食事の必要性、心身の健康、食品の選択能力

(4) 指導に当たって

指導に当たっては、まず、食生活の実態調査をもとに自分の食事の仕方について振り返らせる。そして、アンケートでの意識と実際の姿の違いから問題意識をもたせるようにする。

次に栄養教諭が野菜のはたらきと野菜の摂取量について注目させ、自分に必要な野菜の摂取量

を実感させたい。また、野菜だけではなく、バランスのとれた食事が自分の健康のために必要なことに触れるようにする。

自己決定の場面では、野菜のよさを書かせることで、自己決定へ向けての意欲を高めさせるとともに、本時で学んだこととこれまでの自分の食事の仕方を比較しながら、自分ができることを考えさせ、ワークシートに記入させる。交流の場面では、まず、ペアで考えを交流し、互いの考えを伝え合ったり、認め合ったりすることで学級全員の前で自信をもって発言できるようにする。学級全員の前で発言の場を設定したり、称賛の言葉をかけたりすることで、責任感や実践意欲を高めることができるようにする。

事後の活動では、今回の学習について家庭と連携を図り、家庭でも野菜料理を積極的に取り入れてもらえるように進めていくことで、継続的な実践として取り組めるようにする。さらに、ワークシートに保護者や担任からの称賛の言葉を記入していくことで、子どもに達成感を味わわせ、自主的・主体的な取り組みへとつなげることができるようにする。

(5) 本時の展開

時間	活動内容	予想される子どもの意識	○手立て □めざす子どもの姿
10	振り返り 1 食事をするときの自分の姿について振り返る。 2 野菜について感じていることを交流する。 3 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしカレー大好き。 ・毎日給食が楽しみなんだ。 ・なんでもよく食べているよ。 ・肉は大好きだけど、野菜はあまり食べてないな。 ・野菜なんか食べたくない。 ・にんじんはきちんと食べているから、ピーマンくらい残してもいい気がするな。 ・野菜も食べないと病気になるんじゃない。 ・体によくないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの野菜に対する意識を確認するため、子どもたちが野菜の入った食事をするときの姿について、アンケート結果を提示する。 ○ 給食時に撮影した写真を提示することで、子どもたちの意識と実際の行動に差があることに気付かせ、正直な思いを発言させる。 ○ 正直な思いを受けとめ、子どもたちに賛同しながら、本当に野菜を食べなくてもいいのか考えさせ、本時のめあてにつなげる。 ○ 本時の活動について、進んで取り組めるようにするため、全員でめあてを確認する。
	野菜のことをもっと知って、自分にできることを決めよう。		
	必要性 4 野菜のはたらきや一日に必要な量について必要な量の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・成長するために野菜って大切なんだね。 ・野菜って健康になるために大切なものなんだね。 ・野菜ってすごいな。 ・一つの野菜だけじゃなくて、他の野菜もバランスよく食べないといけないんだね。 ・一日にこんなに食べなくちゃいけないの。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一日に必要な野菜がどのくらいの量なのかを実感させるために、実物を見せたり、実際に持たせたりする。 ○ 野菜だけでなく、バランスのとれた食事が自分の健康のために必要なことも伝えるようにする。
10	解決法 5 自分にできることを考え、話し合う。 6 話し合いをもとに自己決定をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな野菜をしっかり食べる。 ・今日から残さないで食べるぞ。 ・家でも学校でも、好き嫌いをしないで食べたい。 ・先に野菜を食べてみよう。 ・健康にいいから、嫌いなものも食べたいな。 ・体の調子をよくするから、残さないで食べるようにしたいな。 ・野菜はおいしいし、体にいいから、もっとたくさん食べたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 知 野菜のはたらきについて知り、心身の健全な発達や健康な生活を送るためには、野菜を食べることが大切なことを理解している。(発言) ○ 野菜のよいところを書かせることで、自分の取り組みたいことが明確になるようにする。 ○ 自分が取り組みたいと思うことについて全体で考えを出させることで、たくさん情報を共有できるようにし、自己決定する際の選択肢を広げることができるようにする。
	7 本時の学習を振り返り、野菜の合言葉を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜はみんなの応援団だね。 ・野菜はぼくらのお助けマン。 ・野菜は元気が出るくすり。 	<ul style="list-style-type: none"> 思 なぜ、野菜を食べることが大切かをふまえて、実践する自分なりの方法を考えている。(観察・モグモグやさいかード) ○ 意見の交流をすることで、責任感や実践意欲を高めるようにする。 ○ 授業を振り返り、野菜の合言葉を考えることで、野菜についてさらに親しみをもち、継続して実践しようとする意欲を高められるようにする。
5			

学級活動